

Metallomics 2017 にてポスター発表

<参加学会>

2017年8月13日～17日にかけてオーストリアのウィーンで開催された「Metallomics 2017」に参加しました。この学会は、微量元素に関する研究を中心とした国際学会です。

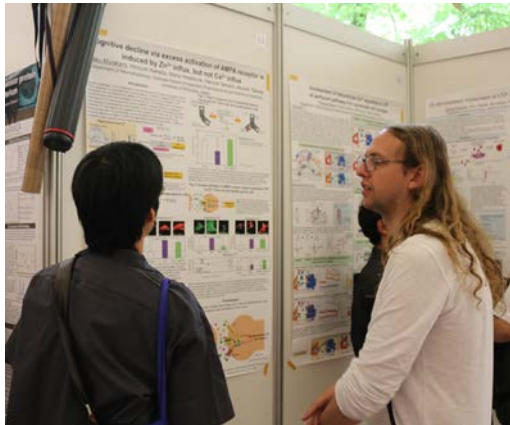
<参加目的>

今回、私は、「Memory loss via excess activation of AMPA receptor is induced by Zn^{2+} influx, but not by Ca^{2+} influx (AMPA受容体活性化を介した記憶障害のトリガーは Ca^{2+} 過剰流入ではなく Zn^{2+} 過剰流入である)」という題目でポスター発表を行いました。

<発表内容>

認知症は記憶を覚える「獲得」更には記憶を保持する「維持」までも障害されるが、「獲得」の研究に対し「維持」の研究は実験の困難さ故非常に報告が少ない。また、当研究室は海馬の亜鉛が記憶の形成に重要であることを報告してきた。以上から私はラットの海馬を過剰興奮させ、神経細胞内の亜鉛レベル変化と維持された記憶が消失するかを検討した。その結果、過剰興奮により細胞内亜鉛イオンが増加し記憶が消失することを明らかにした。加えて、一般的に記憶形成に重要であると考えられているカルシウムイオンについても同様に検討し、過剰興奮により細胞内カルシウムイオンは増加していたにもかかわらず、記憶消失に関与しないという驚くべきことを明らかにした。

<感想>



初めての国際学会での発表であり、海外での英語によるディスカッションはとても貴重な経験となりました。英語による学会発表は過去にも経験していますが、海外での発表はやはり緊張は大きく違いました。そして同時に自らの英語能力の低さから相手の疑問点をうまく説明できない場面などもあり、悔しさを感じました。しかし一方で、他の参加者のポスターやオーラル発表の内容を大まかに把握することはでき、日本人とは違うセンスからなる発表を学ぶこともできました。今後この経験を活かし、残りの研究生生活および企業研究者生活をより豊かなものにしていきたいと思えます。

薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 統合生理学教室

博士前期課程2年 村上 拓